

子どもたちの明日

Children, Our Future

2014年12月

112号

目次

- ・村の幼稚園がはじまるまで 1頁
- ・カンボジア政府・幼児教育責任者が語る「保育支援を僻地の州に広げてほしい」 2頁
- ・2015年、自主運営を始めるCYKの願い 幼い子どもたちのいま—カンボジアの将来 4頁

1

村の幼稚園がはじまるまで

就学前教育を自分たちの手で

カンダール州ルークダエク郡は、ベトナムとの国境からそう遠くはありません。プノンペンの高層ビルや建設現場、交通大渋滞を後にして南に向かい、車で3時間ほど走ると緑が美しいルークダエクに着きます。穏やかな農村地帯が広がるこの辺りは四つの集落に分かれ、その一つのリアンチュー村には1050人（233家族）が住んでいます。村の人たちは、主に家畜の飼料にするトウモロコシの生産と出荷を仕事にしています。一見して他村と変わらないこの村に、いま大きな変化が起きようとしています。子どもの数が多いリアンチュー村に、幼稚園が開かれるのです。

カンボジア政府が全国に広げようとする3歳児以上の幼児教育施設は、5年前に比べると急増していますが、なかなか農村部までは手が届きません。今年はじめ、CYK (Caring for Young Khmer) が村の幼稚園開設の候補地探しの際に出会った村の人たちは、幼稚園をつくることにとっても積極的でした。親が安心して子どもを預けられる場所がほしい、そして何よりも就学前の子どもたちが集団生



タケオ州タブロム村の幼稚園。じっとしていられず、他の子どもたちの前に椅子ごと出された男の子二人。悪びれずに一緒にゲームを続ける姿がおおらかだ。

活を楽しんで、保健衛生の生活習慣を身につけられる幼稚園がほしい。これが村の関係者の一致した意見でした。

いまリアンチュー村では、3年後に自ら運営することを条件に幼稚園の開園を決め、12月15日をめざしてその準備をすすめています。これはCYKが1991年にカンダール州に保育所を開き、以来日本の支援者の協力で続けてきた保育事業の成果です。さらに2011年に始めた新しいプロジェクトでは、将来の自主運営をめざすカンダール州とタケオ州の五つの村の幼稚園で、こんなに元気な子どもたちの姿が見られるようになりました。（右上写真：タケオ州タブロム村の園児たち）。

地域の力を国の力にする日

リアンチュー村では、年長の兄弟と一緒に幼児が通園できるよう、生徒150人が2部授業で通う小学校の敷地内に幼稚園を開くことに決めました。しかし余分な教室はなく、倉庫としてあるスペースを利用することで問題を解決しました。村人の熱意を汲んで、CYKも物置になる簡易倉庫を設置し、机や椅子

をしまう場所をつくることに同意したばかりです。これにいたるまでには、保護者をまじえた度重なる話し合いがありました。協議にはCYKの他に、ルークダエク郡カオムソムノ地区の関係者をはじめ、小学校長、州・郡・地区を代表する各幼児教育担当官、村長、水路管理官、寺の高僧も加わりました。当初、資金を借りて園舎を建てるとした計画は、返済のめどが立たないとして取りやめたいきさつもあります。既存の倉庫を再利用するほか、住民や関係者の手で倉庫を教室に整備、床のセメント張り、トイレの設置なども実現することになりました。経費を地方行政予算に入れるだけでなく、保護者も3年後の自主運営の日に備えて、子ども一人につき一日5円程を支払う取り決めもなされました。貧しい家の家計費が一日200円相当であることを考えると、村の人たちの子どもの将来にける期待がいかに大きいかがわかります。関係者の意向を条文にした契約書も交わされ、保育者の研修も始まりました。幼稚園名簿には、3-5歳の子ども55人の名前も近々登録されることになっています。

保育支援を僻地の州に広げてほしい



校庭の木陰で打ち合わせに忙しい地域の人たち。今月半ば、小学校の一室に幼稚園の開設を決めた。



道路を使って出荷用の飼料トウモロコシを乾すりアンチャー村。村民の願いがかなわない村の幼稚園がはじまる。

—教育省幼児教育局長の役割についてお話しください。

「教育部門だけでなく、国全体の発展に大きく寄与する重要な仕事を大変誇りに思っています。とは言え、この要職に求められるのは、カンボジア政府の教育目標の達成ですから容易ではありません。教育省のビジョンと方針にそって実践するだけでなく、カンボジアの幼児教育の発展と改善にむけた、明確な戦略と計画を確立しなければなりません。また開発事業のパートナーや関連省庁と協調して、教育目標やビジョンの達成は必須です。」

—新幼児教育計画2014-2018が果たす幼児教育局の役割は何ですか。

「幼児教育の発展について、2010年に政府は幼児教育の国策を打ち出しました。新しい計画の成功をめざして、幼児教育局はじめ他の関連省機関が協力して必要なデータを集め、計画の実施に備えています。」

—もう一つの3年計画、世界銀行ほかの援助「教育のグローバル・パートナーシップ」では、2014-

2016年中に1000カ所の地域幼稚園を開くとありますが。

「この計画では、バタンバン、カンポット、コンポントム、スバイリエンの4地区で、数多くの入門養成講座を開きます。目的は各地区の助手養成員を育て、助手養成員がさらに各村、コミュニティ、公立幼稚園で教える人材を養成し、地域住民の支援を得られるようにする仕組みです。」

幼児教育局の仕事は、主として二つの指導要領に添うものです。一つは保護者指導の実施と幼稚園資源供給政策です。前者は保護者の指導と教育にむけた内容で、家庭では子どもの体と心の要求に応じた食べものや保護を与え、保護者が手本となる。

二番目は、州内にある公立幼稚園、公立地域幼稚園、村の幼稚園に必要な人的・物的資源を供給する、核となる幼稚園の指定に関わるものです。この核幼稚園は州内にあるすべての幼稚園から選びます。資源提供園としての条件は—立地がよく、潜在能力/実力を備えた教員がいる施設で、州で一番とされるものでなければなりません。また、その役割は二つで 1)園を豊かにして効率よく運営する、2)州内

の在宅園や公立地域幼稚園、公立幼稚園など、多種類の幼稚園のプログラムを支援することです。

教育省は政府の計画を実施する上で、幼児教育の延長にある小学校やレベルの異なる上級教育との連携を重要視し、責任者が指導内容の範囲を確かめたり評価方法を取り入れています。」

—幼児教育教育局にとって、3年計画のグローバル・パートナーシップ・プロジェクトへのチャレンジとなるのは何ですか。

「まず公立地域幼稚園を持続させることです。特に教員をその職に留めること、そして離職を防ぐ方法としては適切な給与と追加手当を払うことです。ところが給料は上がっていません。この問題が解決していないため、施設の持続性が課題となっています。幼児教育局と関係機関は、地域による支援を働きかけているところですが、可能性としてあるのは地区評議会が追加手当を出し、教員を励ますことだと思います。」

—CYKの役割をどうぞ覧になりませんか。

「CYKは幼児教育局だけでなく教育省全体にとって、幼児教育や教育部門の発展に重要、かつ欠かせないパートナーです。CYKが教育部門の進展に大きく貢献している理由は、村の幼稚園を開くことで幼い子どもたちの心と体、社会性の発達を助け、地域が主体となるような土台を築いているからです。さらに大事なのは、幼稚園に通ったこれらの子どもたちが上の学校に進んで、非常によい成績をあげていることです。これを見ても、子どもの発達や教育部門の改善をはかる幼児教育局と、目標の達成をめざす政府にとって、CYKは重要な役割を担う大切な開発パートナーであることがわかります。」

—幼児教育局支援としてCYKが遠隔地の州の公立幼稚園への支援や、地域で幼稚園を開設することについては、どうお考えですか。

「CYKの協力にはとても感謝しています。CYKが大事なパートナーであるのは、教材・遊具の配布や、遠隔地のいくつもの村で幼稚園を運営し、遊具などの作り方のワークショップを行

い、公立幼稚園にもたくさんの遊具・教材を配るなど、幼児教育局の届かない部分のギャップを埋めているからです。しかしワークショップはカンボジア全州を対象にはしていないので、できることなら他の州でも続けてほしいと考えます。これはカンボジアの教育部門にとっては大きな力になるからです。」

—幼児教育局への貢献度を高めるには何をするのが効果的でしょう。

「CYKにはもっとたくさんの支援と援助を頂きたいと思っています。もしCYKが村や地域で始めた幼稚園を僻地の州へと規模を拡大できれば、すべての子どもたちに素晴らしい教育の機会が生まれます。さらにCYKにお願いしたいのは、村や地域だけでなく、公立幼稚園も対象にした保育者養成や遊具・教材の提供です。」

政府は僻地の子どもたちすべてに、もっとも適切な幼児教育の機会を用意し、教育の質を改善する必要があります。CYKにはこの点の援助を真剣に検討いただきたいのです。」

—いま子どもたちが置かれている状況の改善に向けた将来の計画は

何ですか。

「高等教育への基礎教育としての幼児教育は最も重要視されなければなりません。教育の変遷と発展の過程では、幼児教育が確かな起点となるからです。カンボジアの教育制度の将来は、基礎となる幼児教育の構築と強化にあるのです。そのため、CYKのこれまでの協力で深く感謝すると同時に、今後のさらに強力な支援をお願いするものです。」

補足

- ・カンボジア政府はこの数年、幼児教育の普及に力を入れ、目覚ましい成果をあげている。2005年には、わずか13.6%にすぎなかった3歳から5歳児の就園率が、2012/2013年には32.7%に増えた。カンボジアの制度では、幼児教育はつぎのタイプに分かれている。
 - 1)公立幼稚園、
 - 2)公立地域幼稚園、
 - 3)家庭教育。

- ・国際社会による開発援助「教育のグローバル・パートナーシップ」は、公立地域幼稚園を対象とする。幼児教育の地域の拡大計画の課題は1)遠隔地への接触が不十分、2)プログラムごとに異なる学習の質とその標準化、3)地域保育者の低賃金と高い離職率、がある。



布チョッキンの人形をかかえて離さないブンノン村の園児。人馴れせず、カメラを向けると緊張して顔がこわばった。



ブラック・コソル氏(39歳)はコンボンスプー州コーンビセイ郡ヴィル地区ブレイクロン村出身。2005年教育省入省。アガカーン大学(パキスタン)、ルンド大学(スウェーデン)にて幼児の発達・教育・運営管理を学ぶ。8歳/14歳の娘の父。2013年から現職。幼児教育関連省庁連絡協議会副事務局長。

3

2015年、自主運営を控えたCYKの願い 幼い子どもたちのいま - カンボジアの将来

教育は人間の基本的な権利であり、また貧困を克服するうえでの決定的な要因です。教育は世界を良い方向に変えることもでき、また、いま教育に投資をすることで、将来、その大きな利益を得ることもできます。幼児教育は、6歳未満の子どもたちの体や心の発育に欠かせない大原則です。

カンボジア政府の教育政策とCYKの目標

カンボジア王国政府は、国の将来の柱となる子どもたちの発達の重要性を充分認識しています。したがって幼児期の保護や発育を促す幼児教育は、カンボジア政府にとって、国民全体の教育や貧困に打ち勝つ対策として優先されています。国の目標は2015年までに、5歳児75%を幼児教育施設に受け入れるとしています。また、教育戦略計画（ESP）では、2014年から2018年の間に、幼児教育の拡大を実現させようと、焦点をさらに絞っています。この教育戦略による国の目標の実現に、政府は「教育のグローバル・パートナーシップ」プロジェクトとして、2014年から3年以内に1000カ所の公立地域幼稚園を設けることにしました。2008 - 2011年の実績は、小学校に併設された幼稚園を含め、わずかに公立地域幼稚園451

カ所の開設に終わっています。CYKはこうした政府の政策を支えたいと、生活困窮者の子どもがとりわけ多い地域で、保育プロジェクトの拡大を試みました。CYKはまた、教育・青少年・スポーツ省（以下教育省）幼児教育局に協力し、僻地の州で公立施設の教員養成の一環として、保育遊具・教材の製作と使い方の指導をし、公立施設の子どもたちの利用もできるようにと、遊具・教材の配布を行ってきました。さらに教育省管轄の国や州、郡などのレベルでは、教員養成や保育教材の作り方とその配布だけでなく、校舎建設から補修、設備づくり、その上、CYK保育センターや村の幼稚園運営と同時に保育者指導にも力を入れてきました。

教育省の地域幼稚園とCYKの村の幼稚園

よくたずねられるのは「政府の地域幼稚園とCYKの村の幼稚園の違い」についてです。答えは簡単です。公立地域幼稚園は政府の支援で地区評議会が運営しますが、CYKの村の幼稚園では、地域に運営・管理責任を移行するまでの3年間、CYKが支援者の力を借りて、資金・技術・物質面で運営を支えます。この他にも違いはたくさんあります。例えば、カリキュ

ラム、教員養成、指導観察と評価、教員との指導法に関する話し合い、地域（村）が幼稚園運営を受け継げるような運営態勢づくりがあげられます。公立地域幼稚園の場合は、地区評議会が教員給与を支払う責任があり、費用捻出のために地域幼稚園を地区開発計画に入れ、補助金の対象とする必要があります。ところが、時に地区評議員の知識不足が原因でその通りにならないことがあるのです。

CYKの村の幼稚園はCYK支援の元に、教育省配下にある州や郡、地区、地域責任者による協力や保護者からの貢献があります。村の幼稚園の運営責任を地域に移行する時がくると、村の委員会と保護者の責任で幼稚園は継続されます。この場合も、村の幼稚園プロジェクトは地区評議会の開発計画に組み込まれ、公的補助金を得ます。また保護者たちも小額の資金負担を続け、教員の定時給与としています。

村の幼稚園開設から地域の自主運営まで

CYKの最終的な狙いは、プロジェクトの自主運営にあります。村の幼稚園の場合も、3年目には地域が自主的に園を管理・運営するのが目的です。このため、教育省の州、郡単位による協力のほかに、CYKとしても地区の

まだ幼稚園がないアンスヌール郡の子どもたち。村に幼稚園ができれば、こんな遊び方にも学ぶ楽しみが加わるはずだ。



カンダール州ブラサート村の幼稚園。名を呼ばれた女の子は、しっかりした声でカンボジア語の数字を読み上げた。



ルークダエク郡リアンチュウ村小学校の生徒たち。もうじき学校の一角に幼稚園ができると聞いて、園児がくる日を楽しみにしている。

リーダーたちが選んだ協力的な評議会や委員会と共に、村の幼稚園の持続運営を働きかけます。CYKは各地域で協力的なリーダーたちがしっかりと幼稚園運営ができるよう、最初から手助けします。

CYKが明らかにしているのは、村の幼稚園に対するCYKの支援が最初の3年間であり、その後は地元の組織（地区評議会・村委員会）が全責任を負い、管理・運営にあたる点です。村の幼稚園の開設地を選ぶにあたっては、立地条件を調べ、地元の人たちの意見を聞きながらその必要性をくわしく調べ、プロジェクトに対する支援と公約が地元から得られるかどうかを確かめます。地元への運営責任移行の後、CYKは保育内容の評価、地域の自主運営への動機づけを怠りません。その意味で、CYKでは1施設に対して実質4年間の関わりが必要だと考えています。

つぎにCYKによる支援の内容をあげました。

- 1) 保育者の養成・指導、
- 2) 手洗い場所、トイレを含む設備の設置、
- 3) 定期的な保育内容の評価、指導、保育者との話し合い、
- 4) 定期的な情報交換と保護者への支援要請を目的に、委員会や保護者と話し合う、
- 5) 3 - 5歳児の心身の発達を助ける機会を設け、6歳児の就学に備える。

CYKによる村の幼稚園の運営コストとスポンサー探し

最後に、村の幼稚園一園に必要な4年分の費用の試算をしました。事前調査費 - 約5万円、3年間の運営費小計 - 約140万円、自主運営開始後の協力費 - 約5万円、合計約150万円が村の幼稚園一施設の運営に必要な予算です。このプロジェクトは、幼稚園の自主運営達成に向けたカンボジア政府教育省にとって、モデルとなり得ると考えています。理由は、CYKが最初から地元の指導組織と共に考え、保護者

も含め、定期的にその成立への支援体制を作り上げたからです。

幼児教育の成果は短時間では達成できません。しかし、カンボジアの子どもたちの明日を考え、子どもたちの発達に必要な環境を私たちが用意すれば、それがカンボジアの国の将来への大きな貢献になることは間違いありません。みなさまにお願いします。どうぞ、カンボジアの幼い子どもたちの支援に留まらず、カンボジアの国の発展を長い視野で捉え、私たちの努力に力を貸してください。個人、団体、企業のみみなさまのご協力を得て、村の幼稚園を多くの農村部や僻地で開設したいと願っています。具体的な支援方法として、各村の幼稚園にスポンサーを見つけたいと考えています。読者のみなさま、ご意見をお聞かせください。

チャン・スレイ

CYK (Caring for Young Khmer) 事務所副所長 (2015年4月より事務所長)

写真ギャラリー



左上：一年前に開設したタケオ州カンダール村幼稚園。今月、ようやくトイレが設置される。 左下：タケオ州タブロム村幼稚園。貧しい村の施設だが、子どもと先生の息はピッタリ合っている。 中下：CYK 支援のタケオ州トロビエンクラサン村地域図書室。読書とゲームが楽しみの小学生たち。 右：絹糸を藍の染め液に浸す藍染め研修生。コンボンチャム州アンコールバーン村にて。



2015年カレンダー「カンボジアの絹絵織・ピダン」をご存知ですか。このカレンダーは、幼い難民を考える会が、カンボジアにある織物研修センターで制作した美しい絣織り作品を、カンボジアの風景の中で紹介するユニークな企画です。カンボジアに古くから受け継がれてきた絹の絵絣織りの写真は、人々の平穏への祈りの心を育み、時空を超えた安らぎをもたらします。新しい年への願いをこめて、ご自宅の壁に飾ったり、お友だちへのプレゼントになさいませんか。

定価 1000円(税込み)
申し込み方法 ニュースター同封の申込用紙をご覧ください。

イベント情報

12月22日(月) 18時
“幼い難民を考える会”のために
グレゴリオ聖歌による降誕・夜半のミサと小コンサート

主催 CANTATE DOMINO
後援 JCDA 日本合唱指揮者協会
場所 聖心女子大学聖堂 渋谷区広尾 4-3-1
地下鉄日比谷線 広尾駅 2番出口徒歩5分

子どもたちの明日 112号

発行日：2014年12月11日 発行者：廣戸 直江

特定非営利活動法人幼い難民を考える会

東京事務所 (CYR)

〒110-0016 東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 2A

TEL: 03-6803-2015

FAX: 03-6803-2016

Email: info@cyr.or.jp

URL: http://www.cyr.or.jp/

プノンペン事務所 (CYK)

#170, St.63, Boeung Keng Kang I, Khan Chamkarmorn, Phnom Penh, Cambodia

TEL: (+855) 23 210849

FAX: (+855) 23 210849

Email: info@cyk.org.kh

URL: http://cyk.org.kh/

東京事務所へのアクセス



幼い難民を考える会
東京事務所

アクセス：
JR山手線・総武線
秋葉原駅昭和通り口改札を出て徒歩6分
東京メトロ日比谷線
秋葉原駅1番出口を出て徒歩6分
東京メトロ銀座線
末広町駅より徒歩8分
写真の建物2階です。



幼い難民を考える会 (CYR) は認定 NPO 法人です。
ご寄付は税制優遇措置の対象となります。